

モーセとイエス その共通点から見えてくるもの

聖書通信-29

二人の仲介者・救出者(メシア)

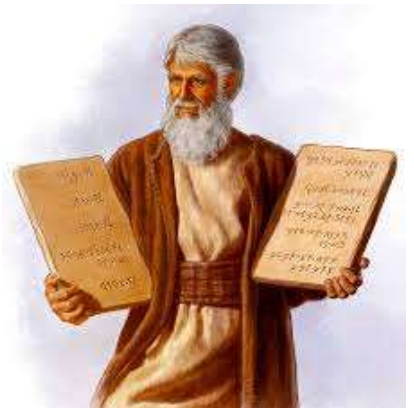
聖書を語る上で絶対忘れてはならない偉大な人物が二人います。

その二人とはモーセとイエスです。

モーセはイスラエル人をエジプトから救い出し、モーセの律法の仲介者としてイスラエルの基礎を築きました。

イエスは人類を罪と死から救い出し、キリストの律法の仲介者として神の王国の基礎を築きました。

この二人は他に多くの共通点を持っています。神の計画の中で二人は共鳴していると言えます。



モーセ自身 人類の救出者と自分が類似していることを前もって悟っていました。そして自分のような預言者が出現することを予告し、彼に聞き従うように民に勧めています。次のように述べています。

エホバ神は、あなたのために兄弟たちの中から私のような預言者を立てます。その人に従わなければなりません。

「私(エホバ)は彼らのために兄弟たちの中からあなた(モーセ)のような預言者を立てる。私は自分の言葉をその人に伝え、その人は私が命じる全てのことを彼らに話す。私は、彼が私の名によって話す私の言葉に従わない人に責任を問う。」 (申命記 18:15-19)

ではイエスとモーセはどのように類似しているのでしょうか。そのことを知る時、イエスがいかに重要な人物であったかを知ることが出来ます。

ではその点を考えてみましょう。

★前もって登場することが予告されていた

二人の登場はともに幾百年も前から予告されていました。

たとえばモーセに関しては、イスラエル(ヤコブ)の祖父に当たるアブラハムに対して、次のように神は語っておられました。

「よく覚えておくがよい。あなたの子孫は異邦の国で寄留者となり、四百年の間奴隷として仕え、苦しめられるであろう。しかしわたしは、彼らが奴隷として仕えるその国民を裁く。その後、彼らは多くの財産を携えて脱出するであろう。・・・ここに戻って来るのは、四代目の者たちである。それまでは、アモリ人の罪が極みに達しないからである。」

モーセ自身その言葉を知っており、それが自分に当てはまることを感じており、40歳の時行動を起こしましたが、まだその時ではありませんでした。それから40年後モーセに神が語られ、彼を救出者として任命されたのです。

イエスに関しては多くの箇所でも予告されていました。

聖書の中心主題は人類の救出者つまりメシアに関するものですが、まさにイエスに当てはまることは火を見るよりも明らかです。

たとえばイザヤは9章でメシアに関する預言を次のように語っています。

「ひとりのみどりごがわたしたちのために生まれた。
ひとりの男の子がわたしたちに与えられた。権威が彼の肩にある。
その名は、「驚くべき指導者、力ある神、永遠の父、平和の君」と唱えられる。
ダビデの王座とその王国に権威は増し平和は絶えることがない。
王国は正義と恵みの業によって
今もそしてとこしえに、立てられ支えられる。
万軍の主（ヤハウェ）の熱意がこれを成し遂げる。」

★幼子の時、命がねらわれた

彼らは重要な人物でしたから、サタンは彼らの命を狙い、幼子の時に抹殺しようとしています。

モーセが生まれた当時、ファラオから「男の子が産まれたならば殺すように」との命令が発せられていました。3ヶ月間隠れて育てられますが命の危険が迫り、ついにモーセは捨て子として他の人にゆだねられることとなります。その結果ファラオの娘に育てられることとなりますが、姉ミリアムの機転によって乳母として実の母親のヨケベドに養育されることとなります。

イエスに関しても同じように命がねらわれました。
救い主がイスラエルに生まれたことを示す星が出現し、東方のバビロニアより博士が来訪しますが、そのことが王ヘロデの知ることとなります。ヘロデはその人物が将来自分を脅かすものとなることを恐れ、その赤子を抹殺するためにイエスが生まれたであろうベツレヘム周辺の幼子を全て殺します。しかしイエスは神の救いの手によってエジプトに逃れ、ヘロデ亡き後イスラエルの北方のナザレに来て成長していきます。

★養育された

モーセもイエスもともに養育されて成長しました。
モーセはアムラムとヨケベドの次男でしたが、王女によって育てられます。

イエスはもともと神のひとりごとして生活していました。しかしこの地上に来てヨセフとマリアによって養育されたと言えます。

★体力、知力ともに優れていた

モーセは当時最高の教育を受けることが出来ました。それだけでなく体力、知力ともに優れた人物でした。

イエスも神に教えられ、知力、体力ともに優れた人物として知られていました。
12歳の時に神殿で論議したときの様子が描かれていますが、その知恵に大人が驚いたことが知られています。最も知恵あるものとしてソロモンが知られていましたが、イエスはそれ以上でした。体格も大きく180cm以上あったようです。

★試練の期間があった

二人とも40と言う数字にまつわる試練の期間がありました。
モーセは40歳の時、自ら救出者として行動しますが、まだその時ではありませんでした。その後モーセは荒野に逃れそこで羊飼いとして40年間に及ぶ訓練を受けます。その後、神の命によって救出者としてエジプトに遣わされます。
モーセの律法が与えられた時、シナイ山で40日間飲食せず山にとどまります。

イエスはバプテスマを受けた後、40日間荒野へ行き試練の時を経験します。40日間飲食せずその間に、3度サタンが現れイエスを誘惑したことが聖書に記されています。イエスはその試練を経た後、人類の救出者として活動されます。

★神からの音信を伝えた

もちろん彼らは神からの音信を伝えています。

モーセはファラオの前に出ていくども警告しました。ファラオの上に10度災いを宣告しています。それでもファラオはかたくなでモーセを滅ぼそうとしました。

イエスも当時の宗教指導者に警告の音信を伝えています。一般の民には神からの慰めの音信を伝えています。それでも指導者はかたくなでイエスを殺そうとしました。

★奇跡を行った

二人とも神からの音信である証拠として様々な奇跡を行っています。

モーセは杖を蛇にしたり、ナイル川を血に変えたり、塵をぶよに変えたりしています。また紅海を分けたり、荒野で水を出したりしています。

イエスも様々な奇跡を行われました。多くの病気を治し、食物を与え、嵐をはずめています。そのうえ3度死者をよみがえらせています。これほどの奇跡を数多く行った人物はいません。

★将来を予言する

予言すると言う点でも二人は優れた能力を発揮しました。

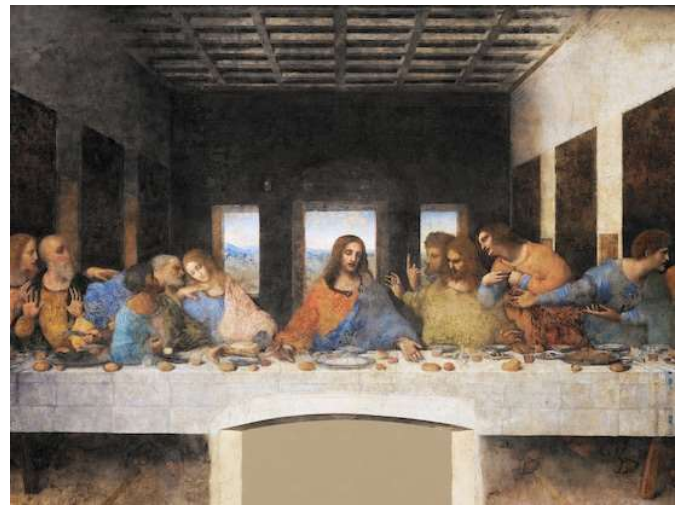
モーセはイスラエルの各部族に関して予告していますし、イスラエルの将来に関して的確な預言を行っています。メシアの到来に関する予告も行っています。

イエスは様々な予言を行いました。特に終わりの日に関する予言は特筆すべきものとなっています。キリスト教の発展に関する予言も興味深いものです。

★新たな過ぎ越しの祝いの制定

ダビンチの最後の晩餐が非常に有名ですが、イエスが祝われたのは過ぎ越しの祝いと呼ばれるもので、この祝いが取り決められたのはモーセの時代でした。

イスラエルがいよいよエジプトを出ることになった夜、最後の災いがエジプトに下ることになっていました。しかし神は戸口に子羊の血を塗るように命ぜられ、家の中にとどまって災いが過ぎ越すように命ぜられます。その命令に従わないなら初子の命はありませんでした。従わなかった人々全ての上に初子が死ぬという災いが起こり、その結果イスラエルはエジプトから追われるようにして出て行くことになりました。



イエスは刑柱上の死に渡されようとしていた夜その過越の式典を行われ、新たな意味をその式典に付与されました。

子羊の血は自らの血を表し、無酵母パンは自らの完全な体を表しました。血を戸口に塗ることはイエスの血に対する信仰を表し、それによって神からの処罰を免れることを意味したのです。

★助け手がいた

彼らにはそれぞれ助け手がいました。

モーセには兄アロンが、代弁者として彼を助けました。モーセにとっても強大な王ファラオの前に出て語るのには勇気がいったに違いありません。そのようなとき

兄アロンの存在は非常な力づけになったに違いありません。

イエスにも神以外の助け手がありました。多くのみ使いたちがイエスを助けたことが記されています。また12使徒と呼ばれる弟子たちも大いに助けになったに違いありません。

★律法契約の仲介者となった

二人は律法契約の仲介者として際だった立場を占めています。モーセはシナイ山で神から十戒を賜り、イスラエル国民と神との間の律法契約の仲介者となりました。

イエスはモーセの律法契約に変わる新しい契約と呼ばれる、キリストの律法契約の仲介者となりました。これはイスラエルのような一国民と結ばれたのではなく、キリストの弟子となる人々全てと結ばれた契約です。モーセの律法契約に変わる新しい契約が結ばれることを、600年以上前からエレミヤによって予告されていました。その律法契約は心に書かれるものであることが示され、まさにイエスによって行われたのです。

★救い主である

救出者として二人とも活動しました。モーセはエジプトに奴隷状態に陥っていたイスラエル人を解放しました。ファラオの威力は強大で普通では考えられないことでしたが、神からの力によって奴隷状態から解放されたのです。

イエスは罪と死という非常に強力な力に捕らえられている人類を、自らの血と命をあがないとして神に捧げることによって解放しました。天の下で人類を罪と死から救い出す唯一の救出者となられたのです。

★新しい地へ人々を導く

彼らはそれぞれ導くべき所がありました。モーセはカナンの地へイスラエル人を導いていきました。エジプトを脱出してから40年という年月が必要でしたが無事彼らをカナンの地へと導きました。

イエスもクリスチャンを導いて新しい時代、神の王国へと導いています。今はまだその途上にありますが、新しい世へとクリスチャンを導いています。

まだ他にも共通点があるかと思いますが、このように類似していることを考える時、いかにイエスが偉大であるかを知ることが出来ます。

